

# 05

戦略

## 都市基盤・建設

まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり

基本  
計画

- ① 快適な住宅・住環境づくり
- ② 地域公共交通ネットワークの充実
- ③ 道路の整備と交通の安全確保
- ④ 公園と歩道空間の整備
- ⑤ 未来型復興による魅力的なまちづくり

# 1

## 快適な住宅・住環境づくり



### 施策の方向

豪雨災害からの復興と防災・減災、快適な生活を目指し、市街地の形成と居住の誘導、拠点を適正にするために医療、福祉等の都市機能の誘導・向上を図り、持続可能な住環境の確保に努めます。

民間住宅については、昭和56年5月31日以前に建築確認を受けた戸建木造住宅を中心に、大規模地震に対する耐震性を向上させるための改修等を促進することで、安全で安心な住環境づくりを進めます。

空き家対策については、取組に関する情報を市民に広く周知し、空き家の適正な管理を促すこととします。特に豪雨災害で被災した空き家については、速やかに所有者を特定し、適正な管理を促します。また、周辺に悪影響を及ぼす管理不全な空き家に対しては改善助言を行い、改善不能なものについては除却を促進することで、市民の安心・安全な暮らしを確保します。

### 成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
民間住宅耐震改修等累計件数	19件	△	38件
市営住宅の用途廃止予定戸数*	0戸	△	121戸
老朽危険空き家の除却支援累計件数	5件	△	25件

### 主要な事務事業

- (1) 戸建木造住宅耐震改修等事業
- (2) 市営住宅ストック総合改善事業
- (3) 市営住宅管理事業
- (4) 空き家対策事業
- (5) 木造仮設利活用事業

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(1)快適な住宅・住環境づくり		

事務事業名	戸建木造住宅耐震改修等事業	担当課	住宅政策課
事務事業概要	昭和56年5月31日以前に建築確認を受けた戸建木造住宅および、令和7・8年度に限り平成12年5月31日以前に着工した戸建木造住宅を追加対象とした、耐震診断と耐震改修等を行う経費に対して、費用の一部を補助する事業		
主な取組内容 Plan	既存	戸建木造住宅耐震改修等事業	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	429	千円	3,100
県補助金	0	千円	2,700	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	430	千円	1,170	千円	
事業費	859	千円	6,970	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	令和7年度は、耐震診断及び耐震改修等事業補助金交付要項を期限付きで改正し、補助対象と補助限度額を拡充した。また、耐震改修等の普及啓発のためのリーフレット郵送業務を実施した。耐震診断事業を10件、改修設計+改修工事を2件、設計+建て替え工事を1件、危険ブロック塀等撤去・新設を1件実施し大規模な地震発生時の建物倒壊やブロック塀等の倒壊による避難路の封鎖の恐れを一部改善することができた。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	耐震改修等に関心を持っていただくことが必要。		
改善内容 Action	引き続き、普及啓発のためのリーフレット郵送業務を実施する。また、補助対象となる住宅の拡充を検討及び、復興基金を活用した補助金の拡大も併せて検討する。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	3,100	千円	3,100	千円	3,100
県補助金	2,700	千円	2,700	千円	2,700	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	3,170	千円	3,170	千円	3,170	千円	
事業費	8,970	千円	8,970	千円	8,970	千円	

総合戦略	災害に強く安心して暮らせる地域の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(1)快適な住宅・住環境づくり		

事務事業名	市営住宅ストック総合改善事業	担当課	住宅政策課
事務事業概要	既設の市営住宅について、計画的な改善等を総合的に推進することにより、市営住宅ストックの居住水準の向上と総合的な活用を行う事業		
主な取組内容 Plan	既存	長寿命化型改善事業	既存
	既存	居住性向上型改善事業	安全性確保型改善事業

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	97,260
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	120,800	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	5,811	千円	
事業費	0	千円	223,871	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	市営住宅の多くは建築後30年以上経過しており、外壁や給水設備等が老朽化している状況がある。各団地の改修工事を行ったことにより、市営住宅の快適な居住環境の整備と、安全性・長寿命化を図ることができた。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	人口・世帯減少が進む中、公営住宅の適正ストック数の設定によって、適切に管理していく必要がある。また、公営住宅の入居者は、高齢者がいる世帯数が5割を超えており、今後も高齢化が進行することが予測されることから、高齢者に対応した住戸・住環境の整備・改善を図る必要がある。 年々老朽化が進んでいる状況であり、快適な住環境の維持に努める必要がある。		
	公営住宅の適正ストック数の設定により、それを適切に管理していくため、公営住宅の用途廃止を目的とした入居者の移転・公営住宅の集約化をおこなっていく。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	50,994	千円	42,354	千円	48,222
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	58,326	千円	48,766	千円	55,938	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	4,000	千円	3,000	千円	3,000	千円	
事業費	113,320	千円	94,120	千円	107,160	千円	

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(1)快適な住宅・住環境づくり		

事務事業名	市営住宅管理事業	担当課	住宅政策課	
事務事業概要	市営住宅への入退去の手続き、家賃の収納・滞納整理および内装・設備の維持修繕等を行う事業			
主な取組内容 Plan	既存	市営住宅修繕業務	既存	市営住宅 入退去業務
	既存	市営住宅家賃滞納整理業務	既存	移転費等助成事業

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	1,074	千円	984
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	68,474	千円	66,044	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	
事業費	69,548	千円	67,028	千円	

事務事業評価					
成果・課題 Check	(取組成果)				
	市営住宅は、令和7年4月現在で1,436戸を管理しているが、建築後30年以上経過したものが多く、年々老朽化が進んでいる状況であり、快適な住環境の維持に努める必要がある。市営住宅の入退去に伴い、住戸の修繕を行うと共に、共同施設等の保守・点検・管理を適切に行うことによって、住みやすい居住環境を提供・維持することができた。				
改善内容 Action	(今後の課題)				
	民間賃貸住宅に入居できない高齢者が、市営住宅への入居を希望するケースが増えてきているが、空室の多くは4、5階の高層階であること。また、家賃の長期滞納者対策について早期の対応が必要であること。				
改善内容 Action	令和7年4月から一般募集を開始した木造仮設利活用住宅について、入居を希望する高齢者用の住宅として有効活用する。また、悪質な長期滞納者について、強制退去などの法的措置を進めていく。	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	984	千円	984	千円	984
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	46,234	千円	38,471	千円	38,471	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	
事業費	47,218	千円	39,455	千円	39,455	千円	

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5 都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(1)快適な住宅・住環境づくり	

事務事業名	空き家対策事業	担当課	地域コミュニティ課	
事務事業概要	倒壊等の事故、火災および犯罪の発生の可能性のある老朽危険空き家等の除却を促進するために、除却工事を行う者に対し補助金を交付し、市民の安全かつ良好な生活環境の保全を図る事業 また特定空き家等に認定され、改善が見られない場合には、行政(略式)代執行を行う事業			
主な取組内容 Plan	既存	老朽危険空き家等除却促進事業	既存	空き家等実態調査業務委託
	既存	行政(略式)代執行	新規	(仮)片付け補助金・(仮)管理活用支援法人委託

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	909	千円	770
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	3,110	千円	1,414	千円	
事業費	4,019	千円	2,184	千円	

評価

事務事業評価					
成果・課題 Check	(取組成果)				
	令和3年度に市内全域の空き家実態調査(件数、分布状況、目視による不良度判定等)を実施しており、空き家情報の把握に努めている。住民からの通報等により、空き家法に基づき所有者を把握し、場合によっては老朽危険空き家等除却促進事業や空き家バンク等の紹介を行うなど適正管理の依頼を行っている。 令和6年度には所有者不在の特定空き家の略式代執行1件を実施した。				
改善内容 Action	(今後の課題)				
	今後、少子高齢化、人口減少の進行により、空き家のさらなる増加が見込まれる。所有者による適正管理の徹底、補助事業の活用による除却の促進、利活用の推進など、総合的に対策を講じる必要がある。 令和3年度に市内全域の空き家実態調査(件数、分布状況、目視による不良度判定等)を実施しており、本市の空き家対策の基礎資料とするため、今後も概ね5年ごとに実態調査を行う。				
改善内容 Action	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者による適正管理の徹底および意識啓発を図る。</li> <li>・有利な補助制度等の活用を図る。</li> <li>・相談会を開催し、適正管理や処分のアドバイスをを行い、空き家の解消に繋げる。</li> <li>・移住定住政策部門との連携を図る。</li> </ul>	事業の方向性	資源配分		
		拡大	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	財源	拡大
財源	拡大				
人員	拡大				

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	4,875	千円	1,520	千円	1,520
県補助金	600	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	4,963	千円	664	千円	664	千円	
事業費	10,438	千円	2,184	千円	2,184	千円	

総合戦略	地方移住の推進 仕事と子育ての両立 魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5 都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(1)快適な住宅・住環境づくり	

事務事業名	木造仮設利活用事業	担当課	住宅政策課
事務事業概要	令和2年7月豪雨災害で被災した世帯のうち、自力で住宅再建が困難な方に対して、木造仮設住宅の一部を市営住宅として整備し住まいを提供するもの。		
主な取組内容 Plan	既存	木造仮設利活用事業	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	80,603	千円	20,763
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	98,517	千円	25,378	千円	
事業費	179,120	千円	46,141	千円	

事務事業評価					
成果・課題 Check	(取組成果)				
	令和5～6年度にかけて、利活用する6団地の敷地整備工事測量設計業務を実施した。また、令和6年度に木造仮設利活用住宅改修工事(145戸)を実施し、令和2年7月豪雨災害で被災し、自力で住まい再建が困難な被災者の住まいの確保ができた。 令和7年度は、利活用した6団地のうち3団地の敷地整備工事を完了した。令和8年度以降は、残り3団地の敷地整備工事を引き続き実施する。				
改善内容 Action	(今後の課題)				
	利活用する6団地について、敷地整備工事を実施し建築基準法及び都市計画法に適合する施設とする必要があるが、入居者の安全を確保しつつ工事を行う必要があるため、工事の施工計画(工事範囲や発注時期等)を十分検討する必要がある。				
改善内容 Action	施工計画や設計の精査に時間を要するが、期間内に目標が達成できるよう計画的に事業に取り組む。	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	35,748	千円	11,250	千円	27,000
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	46,077	千円	13,750	千円	33,000	千円	
事業費	81,825	千円	25,000	千円	60,000	千円	

総合戦略	災害に強く安心して暮らせる地域の形成
市長マニフェスト	建設型応急住宅を改修し、市単独住宅へ早期に移行します。

# 2

## 地域公共交通ネットワークの充実



### 施策の方向

本市の地域公共交通のマスタープランとなる「人吉市地域公共交通計画」に基づき、誰もが暮らしやすい都市の実現、希望ある復興を支える基盤として、地域の実情に応じた適切な地域公共交通の検討・導入による交通空白地の解消、市民の生活利便性確保、さらには観光客等をはじめとする来訪者の移動環境の向上を目指します。

くま川鉄道においては、「くま川鉄道に係る長期的な運行の確保に関する計画」に基づく営業の改善や事業継続に向けた取組に対して、沿線自治体が一体となって支援を継続していきます。

人吉市立地適正化計画に基づき都市計画と公共交通の一体化を目指すことで、居住や都市の生活を支える機能の誘導によるコンパクトなまちづくりと、公共交通の再編等との連携を進め、持続可能な交通社会の実現を目指します。

### 成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
地方バス路線維持・支援事業 (年間走行キロあたり利用者数)	0.13人/km	○	0.15人/km
コミュニティ交通（まめバス、乗合タクシー） の年間利用者数	18,226人	◎	13,000人 以上
交通空白地の解消	2地区	○	0地区

### 主要な事務事業

- (1) 路線バス・地域内交通(まめバス、予約型乗合タクシー等)の路線見直し・再編事業
- (2) 地域公共交通のサービス強化による利用促進事業
- (3) くま川鉄道鉄道施設等維持管理事業

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(2)地域公共交通ネットワークの充実		

事務事業名	路線バス・地域内交通(まめバス、予約型乗合タクシー等)の路線見直し・再編事業	担当課	交通政策課
事務事業概要	利便性と効率性を考慮し、地域の実情に適した公共交通網の再編を図っていく事業		
主な取組内容 Plan	既存	人吉市公共交通会議	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	3,690	千円	3,445	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	56	千円	56	千円	
一般財源	84,354	千円	93,825	千円	
事業費	88,100	千円	97,326	千円	

事務事業評価					
成果・課題 Check	(取組成果)				
	交通空白地となっていた矢岳地区において実証実験を行っている乗合タクシーの運行を令和6年10月1日から毎日運行へ変更し、乗り方教室を実施。また、住民からの要望等により乗合停留所の増設を行った。				
改善内容 Action	(今後の課題)				
	利用率増加のために乗り方教室を継続的に実施。残る交通空白地(永野地区、大畑地区の一部)の解消策の検討を引き続き行う。				
改善内容 Action	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り方教室の実施</li> <li>・ニーズ調査</li> <li>・AI調査</li> </ul>	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	拡大				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	3,445	千円	3,445	千円	3,445	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	56	千円	56	千円	56	千円	
一般財源	93,825	千円	93,825	千円	93,825	千円	
事業費	97,326	千円	97,326	千円	97,326	千円	

総合戦略	地方移住の推進 魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	公共交通改革を進め高齢者等の移動手段の確保を図ります。

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(2)地域公共交通ネットワークの充実		

事務事業名	地域公共交通のサービス強化による利用促進事業	担当課	交通政策課
事務事業概要	市民のみならず、観光客等も利用できるよう、市内の地域公共交通に関する情報、さらには観光施設や宿泊施設等も一緒になったわかりやすく便利な地域公共交通マップの作成や、既存ホームページ等においても一元的な情報提供を実施する事業		
主な取組内容 Plan	既存	人吉市公共交通会議	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	
事業費	0	千円	0	千円	

評価

事務事業評価					
成果・課題 Check	(取組成果)				
	令和6年10月から乗合タクシー(矢岳線)の毎日運行を開始し、利用環境の充実、サービス強化につながった。				
改善内容 Action	(今後の課題)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報更新の容易さや広く情報発信することが重要であるので、デジタル化に取り組む必要がある。</li> <li>・公共交通メニューの更新</li> </ul>				
改善内容 Action	公開型GISを活用した路線図作成	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	
事業費	0	千円	0	千円	0	千円	

総合戦略	地方移住の推進 魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	公共交通改革を進め高齢者等の移動手段の確保を図ります。

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(2)地域公共交通ネットワークの充実		

事務事業名	くま川鉄道鉄道施設等維持管理事業	担当課	交通政策課
事務事業概要	開業以来30数年が経過していることから、中長期的に線路設備、電気設備、駅設備等を定期的な保守管理の中で補修を実施し、安全運行管理につなげていく事業		
主な取組内容 Plan	既存	取締役会	既存
	既存	くま川鉄道再生協議会	新規
			人吉・球磨地域公共交通活性化協議会
			くま川鉄道管理機構

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	3,487	千円	3,824	千円	
一般財源	118,624	千円	142,622	千円	
事業費	122,111	千円	146,446	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	施設等整備に係る費用を沿線自治体が担う(経営安定化補助金)ことにより、定期的、安定的な保守が実現し、くま川鉄道の安全運行につながった。また、一般社団法人くま川鉄道管理機構が設立された。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	上下分離により軌道、駅舎などの鉄道施設に加え車両も一般社団法人くま川鉄道管理機構が保有することになり、適正な管理体制及び自治体負担割合の検討が必要。		
	管理機構の組織体制の構築及び負担割合の決定	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持
			人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	3,824	千円	3,824	千円	3,824	千円	
一般財源	133,683	千円	135,752	千円	135,553	千円	
事業費	137,507	千円	139,576	千円	139,377	千円	

総合戦略	地方移住の推進
	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	人吉球磨、沿線自治体一体となったくま川鉄道とJR肥薩線の復活を目指します。

# 3

## 道路の整備と交通の安全確保



### 施策の方向

被災市街地復興推進地域の指定を受けた青井地区の国道445号の整備については、復興事業として、住環境やにぎわいの創出といった土地区画整理事業の手法を取り入れる面的整備と合わせて、改良を促進します。また、国道445号の整備によって青井地区に集中する交通の緩和を目的に、市街地各所からの交通を内環状線に誘導するため、内環状の主要幹線道路である都市計画道路下林柳瀬線等の改良整備に取り組めます。他の都市計画道路についても、円滑な交通機能の発揮に加え、市街地形成、防災機能、さらには景観形成など多くの機能が求められていることから、路線を取り巻く背景や整備の実現性も含め見直しを行います。

その他復興関連事業としては、豪雨災害後のまちづくり懇談会等が出された意見や露呈した避難環境の課題等を踏まえ、避難路等の整備計画を取りまとめの上、随時整備に取り組むとともに、「防災」、「安全・円滑な交通確保」、「良好な景観の形成」等の観点から必要な道路において無電柱化を推進します。

また、復旧・復興事業への傾注のため、遅れていた市民生活に身近な道路、橋りょうの傷みや老朽化についても、適切に取り組み交通利便性の向上と市民生活の安全、安心の確保に努めます。

### 成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
都市計画道路事業進捗状況（改良率）	48.5%	◎	48.5% <sup>(※①)</sup>
橋りょう補修整備事業進捗状況	2橋/9橋	△	7橋/9橋 <sup>(※②)</sup>
避難路整備事業進捗状況（改良率）	3.0%	△	18.5% <sup>(※③)</sup>

(※①) 18.0km/37.1km

(※②) 市道橋291橋のうち橋梁点検において健全度の判定区分がⅢおよびⅣと判定された補修が必要な橋梁9橋を対象

(※③) 2.5km/13.5km R5 測量設計業務、R6 より着工予定

### 主要な事務事業

- (1) 都市計画道路事業
- (2) 橋りょう補修整備事業
- (3) 道路維持修繕事業
- (4) 道路新設改良事業
- (5) 国道道整備促進事業
- (6) 避難路整備事業

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(3)道路の整備と交通の安全確保		

事務事業名	都市計画道路事業	担当課	都市計画課
事務事業概要	市街地復興における交通体系の確立のための内環状線の整備、交通混雑の解消、歩行者の安全通行の確保と外環状線の整備を推進する事業		
主な取組内容 Plan	既存	都市計画道路下林柳瀬線事業	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	8,498	千円	34,782
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	6,650	千円	27,218	千円	
事業費	15,148	千円	62,000	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	令和5年度から事業を開始している都市計画道路下林柳瀬線は、令和6年度までに詳細測量設計が完了した。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	関連事業の青井地区土地区画整理事業や、国道445号事業等と連携を取りながら進めていく。		
特になし。	事業の方向性	資源配分	
	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	90,034	千円	129,030	千円	139,801
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	70,456	千円	100,970	千円	109,399	千円	
事業費	160,490	千円	230,000	千円	249,200	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(3)道路の整備と交通の安全確保		

事務事業名	橋りょう補修整備事業	担当課	道路河川課
事務事業概要	人吉市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、地域生活に密着した橋りょうの点検を実施し、計画的に補強補修することで、重要構造物の保全を図り、地域住民の快適かつ安全安心な生活環境を確保する事業。		
主な取組内容 Plan	既存	人吉市橋梁長寿命化修繕計画更新作業	既存
	既存	橋梁補修整備事業	橋梁点検業務

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	110,555	千円	100,000
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	86,800	千円	100,000	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	66	千円	13	千円	
事業費	197,421	千円	200,000	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	令和6年度に上原田橋の橋梁補修工事を完了させることができた。 令和7年度に野口橋橋梁補修工事を発注を行った。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	引き続き、橋梁補修工事に取り組む。 継続的に事業実施を行っていく必要があるため、道路メンテナンス事業の予算の確保が重要である。		
改善内容 Action	高度成長期に架設された橋梁の多くが今後、同時期に老朽化を迎えることから計画通りに補修工事を行っていく必要がある。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	66,000	千円	41,000	千円	10,000
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	66,000	千円	41,000	千円	10,000	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	
事業費	132,000	千円	82,000	千円	20,000	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(3)道路の整備と交通の安全確保		

事務事業名	道路維持修繕事業	担当課	道路河川課
事務事業概要	道路を良好な状態に維持するために、道路パトロール、路面・安全施設・側溝等の点検・補修を実施する事業。		
主な取組内容 Plan	既存	舗装修繕工事(社交金)	既存 道路維持管理業務委託
	既存	維持修繕工事(単独)	既存 道路維持補修(直営)

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	49,640	千円	100,000
県補助金	25,316	千円	0	千円	
起債	24,300	千円	100,000	千円	
その他	5,000	千円	10,000	千円	
一般財源	4,944	千円	1,098	千円	
事業費	109,200	千円	200,000	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	舗装維持補修工事により舗装の更新を行うことができた。 令和6年度 下林北願成寺線(願成寺工区)の舗装修繕完了。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	社会資本整備総合交付金の内示率の低下により計画的な舗装修繕工事の実施が難しい。		
改善内容 Action	引き続き、予算確保を行い舗装修繕工事を行っていく。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	36,720	千円	24,990	千円	58,140
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	35,200	千円	24,000	千円	55,800	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	80	千円	10	千円	60	千円	
事業費	72,000	千円	49,000	千円	114,000	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(3)道路の整備と交通の安全確保		

事務事業名	道路新設改良事業	担当課	道路河川課	
事務事業概要	交通利用状況に合わせた通学路等の安全対策や老朽化対策など、市民生活の根幹となる道路整備として、新設改良、離合箇所、側溝改修・整備、法面対策を行う事業			
主な取組内容 Plan	既存	社会資本整備総合交付金事業(通学路)	新規	道路改良事業(単独)
	既存	社会資本整備総合交付金事業(道路改良)		

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	12,650	千円	100,000
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	42,300	千円	100,000	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	50	千円	0	千円	
事業費	55,000	千円	200,000	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	通学路の整備や道路の法面対策工事を行うなど、道路の安全性を高め、利用者の利便性向上に寄与した。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	継続的に事業実施を行っていく必要があるため、社会資本整備総合交付金の予算の平準化の必要がある。		
改善内容 Action	工事費等の繰越がみられることから、年度内完了を目指す必要がある。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	55,000	千円	55,000	千円	55,000
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	55,000	千円	55,000	千円	55,000	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	
事業費	110,000	千円	110,000	千円	110,000	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(3)道路の整備と交通の安全確保		

事務事業名	国県道整備促進事業	担当課	道路河川課
事務事業概要	地域間交流の活性化や経済発展に欠かせない広域幹線道路である国県道について、街並みや景観に配慮した整備を促進するための事業		
主な取組内容 Plan	既存	各路線における期成会活動	
	既存	期成会における首長による国、県への要望活動	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	100	千円	100	千円	
事業費	100	千円	100	千円	

事務事業評価					
成果・課題 Check	(取組成果)				
	期成会による国、県要望活動によりそれぞれの国県道の整備が進んでいる状況。				
改善内容 Action	(今後の課題)				
	直接的に人吉市内の国県道の整備につながっていない期成会があるものの、圏域、沿線自治体として今後も活動していく必要あり。				
改善内容 Action	特になし。	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	100	千円	100	千円	100	千円	
事業費	100	千円	100	千円	100	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(3)道路の整備と交通の安全確保		

事務事業名	避難路整備事業	担当課	道路河川課
事務事業概要	豪雨災害を踏まえ、災害時においてリードタイム(避難時間帯)に安全な避難場所へ円滑な避難が可能となるよう道路改良事業等により避難路の整備・強化を促進する事業		
主な取組内容 Plan	既存	都市防災総合推進事業(避難路整備)	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	32,250	千円	468,500
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	32,200	千円	468,500	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	50	千円	0	千円	
事業費	64,500	千円	937,000	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	令和2年7月豪雨災害において被害が大きかった温泉町地区において、避難路第1号の温泉町地内第1号線を竣工することができた。また、各路線において道路用地の確保が進んだ。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	路線によっては、大型の補償物件があることから計画的な予算の確保、執行が必要。また、建物調査、用地買収、工事といった避難路整備全体の工程管理を行い、事業が停滞しないような体制づくりが必要。		
改善内容 Action	特になし。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	293,500	千円	392,500	千円	392,500
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	293,500	千円	392,500	千円	392,500	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	
事業費	587,000	千円	785,000	千円	785,000	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

# 4

## 公園と歩道空間の整備



### 施策の方向

都市公園全体として、トータルコスト軽減のために、利用頻度が少ない施設の統廃合や官民連携による運営を検討します。豪雨災害の被災者対策として、多くの公園が建設型応急住宅の整備箇所として利用されておりますが、今後応急住宅の解体が決まった公園については現状復旧を速やかに行い、公園としての機能回復に努めます。中川原公園については、災害復旧を進めながら、球磨川兩岸を繋ぎ人が集う憩いの場としての整備を図ります。

また、被災市街地復興推進地域に指定して土地区画整理事業を進めている青井、中心市街地地区においても公園の適正配置を行い、災害時の拠点や避難場所等として整備します。

村山公園については、高台という特性を生かし、自動車等による避難場所としての機能を付加するなど防災面での拡充を行います。

石野公園は、道の駅効果により入園者が増加傾向にあり、キャンプ場の利用者も増えているため、滞在型の公園として施設の拡充や以前からの課題であった民間と行政が連携して行う PPP 事業や PFI 事業の導入を検討し、コスト削減や効率化を図りながらさらなる魅力向上に努めます。

街路樹については、将来の維持管理も考慮し、全路線において高木から中木・低木化へ樹種転換等を進め、安全・安心な歩道を整備し歩道空間の確保を図ります。

### 成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
都市公園施設改築事業進捗状況 (整備率)	37%	△	46% (*①)
街路樹樹種転換事業進捗状況 (進捗率)	25%	△	37% (*②)

(\*①) 都市公園施設 83 施設 / 182 施設

(\*②) 街路樹 281 本 / 749 本

### 主要な事務事業

- (1) 石野公園再活性化事業
- (2) 都市公園施設改築事業
- (3) 街路樹樹種転換事業

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(4)公園と歩道空間の整備		

事務事業名	石野公園再活性化事業	担当課	都市計画課
事務事業概要	人吉クラフトパーク石野公園魅力化構想に基づく再活性化事業		
主な取組内容 Plan	既存	PPP研修への職員の参加	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	
事業費	0	千円	0	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	官民連携事業調査業務による事業者に対するサウンディングや、EMBAのフィールド研究等により、石野公園の再活性化について民間の意見や提案を受けることでさまざまな情報を得ることができた。 また、職員が研修等へ参加し今後PPPの検討を行う上での知識を向上することができた。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	石野公園の再活性化に向けて、関係する商工観光課と連携しながら進めていく。		
改善内容 Action	特になし。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	
事業費	0	千円	0	千円	0	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	石野公園の活性化を促進します。 ・建設型仮設住宅を活用した滞在型公園施設の整備を行います。 ・農産物直売所の拡充を行います。儲かる農業を後押しします。 ・ドッグラン等の設置を行います。

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(4)公園と歩道空間の整備		

事務事業名	都市公園施設改築事業	担当課	都市計画課
事務事業概要	都市公園の修景施設の改築・更新を行う事業、公園の高木を転換、伐採・剪定する事業		
主な取組内容 Plan	既存	都市公園施設改築事業	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	15,000	千円	22,400
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	15,000	千円	22,400	千円	
事業費	30,000	千円	44,800	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	都市公園の施設を長寿命化計画に基づき改築し、公園利用者の利便性の向上や安全・安心な都市公園管理へとつながった。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	人口減少が進む中、都市公園の整備計画の見直しが必要。		
改善内容 Action	特になし。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	15,000	千円	26,500	千円	13,000
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	15,000	千円	26,500	千円	13,000	千円	
事業費	30,000	千円	53,000	千円	26,000	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(4)公園と歩道空間の整備		

事務事業名	街路樹樹種転換事業	担当課	都市計画課
事務事業概要	既存の街路樹の樹種転換を行い、路線ごとに中木・低木の樹種を選定し、安全・安心な歩道を確保し快適な歩道空間を維持する事業		
主な取組内容 Plan	新規	人吉市街路樹樹種転換計画策定	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	4,987	千円	5,000	千円	
事業費	4,987	千円	5,000	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	樹種転換の樹種を決定する前に既存の樹木の伐採を進めている。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	樹種転換の樹木の選定等を含め樹種転換計画を策定し、植樹する樹種を決定していく。		
改善内容 Action	特になし。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	5,000	千円	12,000	千円	5,000	千円	
事業費	5,000	千円	12,000	千円	5,000	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
	災害に強く安心して暮らせる地域の形成
市長マニフェスト	該当なし

# 5

## 未来型復興による魅力的なまちづくり



### 施策の方向

景観上重要となる施設については景観重要建造物等の指定をし、保存に努めます。

被災市街地復興推進地域に指定した青井地区においては、熊本県施行の土地区画整理事業等の実施により、避難路・緊急輸送道路(国道445号)としての都市計画道路等や一時避難場所となる公園の整備を行い、防災性の向上を図ります。併せて宅地の造成および適切な公共施設の整備改善により、未接道宅地や生活道路等の住環境の改善、賑わい創出のための拠点整備等による宅地の利用増進を図り、被災市街地の復興を図ります。

中心市街地地区においては、紺屋町の一部の地域において土地区画整理事業等により、未接道宅地の解消のため新たな区画道路の整備を図るとともに、一時避難場所となる公園の整備を行います。また、熊本県が管理する山田川の河川改修事業に併せて、沿川の土地活用向上のため地域の防災性・安全性の向上を図るとともに、賑わいを創出するための交流・文化の拠点となる施設等を整備することにより、被災市街地の復興を図ります。

さらには、本市の貴重な地域資源である球磨川の安全性、親水性、周遊性を向上させることにより、河川空間とまち空間が融合した球磨川を生かしたまちづくりを推進します。

#### 成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
景観計画に基づく届出件数	203件	△	350件
居住人口の市全体に対する割合 (青井地区)	1.4%	△	1.6%
居住人口の市全体に対する割合 (中心市街地地区)	1.2%	△	1.4%
年間宿泊客数*	167,183人 (令和6年末)	○	217,000人 (令和9年末)
年間日帰り客数	1,063,497人 (令和6年末)	○	1,283,000人 (令和9年末)

### 主要な事務事業

- (1)土地区画整理事業      (2)地区計画      (3)都市再生整備計画事業
- (4)都市防災総合推進事業   (5)鍛冶屋町通り街なみ環境整備事業

<b>戦略名</b>	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
<b>施策項目</b>	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり		

<b>事務事業名</b>	土地区画整理事業	<b>担当課</b>	市街地復興課
<b>事務事業概要</b>	地権者から土地を提供(減歩)してもらい、その土地を道路、公園、河川等の公共施設が増える分に充てることで、整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業		
<b>主な取組内容</b> Plan	既存	紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業	

事務事業実績					
事業財源	費目	令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
Do	国庫補助金	176,543	千円	88,000	千円
	県補助金	120,050	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	176,543	千円	88,000	千円
	一般財源	70,954	千円	95,806	千円
	事業費	544,090	千円	271,806	千円

事務事業評価			
成果・課題	<b>(取組成果)</b>		
	令和6年3月に第1期仮換地指定を行い工事着手し、宅地の造成が完了したところから権利者へ土地を引渡すことができました。また、令和7年3月には第2期の仮換地指定を行い、指定率100%を達成できた。引き続き、補償交渉や造成工事等を行っている。		
Check	<b>(今後の課題)</b>		
	建物移転の必要な権利者もいるため、権利者との合意形成が非常と重要になる。		
改善内容	定期的に戸別訪問を行い、合意形成を図っていく。また、造成工事をできるだけ進め早期に権利者の方へ土地を引き渡していく。	<b>事業の方向性</b>	<b>資源配分</b>
		現状維持	財源 現状維持 人員 拡大

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		予算額		予算額		予算額	
Do	国庫補助金	23,871	千円	10,100	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	11,487	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	23,871	千円	10,100	千円	0	千円
	一般財源(単独)	67,135	千円	486,862	千円	55,502	千円
	事業費	114,877	千円	518,549	千円	55,502	千円

<b>総合戦略</b>	地方移住の推進 魅力的な生活圏の形成 「関係人口」の創出・拡大
<b>市長マニフェスト</b>	青井地区、中心市街地地区の区画整理による再開発を進めます。

<b>戦略名</b>	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
<b>施策項目</b>	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり		

<b>事務事業名</b>	土地区画整理事業	<b>担当課</b>	市街地復興課
<b>事務事業概要</b>	地権者から土地を提供(減歩)してもらい、その土地を道路、公園、河川等の公共施設が増える分に充てることで、整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業		
<b>主な取組内容</b> Plan	既存	青井被災市街地復興土地区画整理事業	

事務事業実績					
事業財源	費目	令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
Do	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	60,360	千円	33,992	千円
	事業費	60,360	千円	33,992	千円

事務事業評価					
成果・課題	<b>(取組成果)</b>				
	令和6年8月に第2期仮換地指定を行い、同年11月に第3期の仮換地指定を行い、指定率100%を達成できた。引き続き、補償交渉や造成工事等を行っている。				
Check	<b>(今後の課題)</b>				
	建物移転の必要な権利者もいるため、権利者との合意形成が非常に重要になる。				
改善内容	定期的に戸別訪問を行い、合意形成を図っていく。また、造成工事を準備が整ったところから順次工事着手し、早期に権利者の方へ土地を引き渡していく。	<b>事業の方向性</b>	<b>資源配分</b>		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	拡大				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	47,597	千円	60,436	千円	6,499	千円
	事業費	47,597	千円	60,436	千円	6,499	千円

<b>総合戦略</b>	地方移住の推進
	魅力的な生活圏の形成
	「関係人口」の創出・拡大
<b>市長マニフェスト</b>	青井地区、中心市街地地区の区画整理による再開発を進めます。

<b>戦略名</b>	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
<b>施策項目</b>	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり		

<b>事務事業名</b>	地区計画	<b>担当課</b>	市街地復興課	
<b>事務事業概要</b>	建物の建て方や街並みのルール等を住民が主体となって地区レベルで定めることができる計画			
<b>主な取組内容</b> Plan	既存	青井地区復興まちづくり推進協議会	既存	下青井町座談会
	既存	中心市街地地区復興まちづくり推進協議会		

事務事業実績					
事業財源	費目	令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
Do	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	0	千円
	事業費	0	千円	0	千円

評価

事務事業評価					
<b>成果・課題</b> Check	(取組成果)				
	令和6年度は、両地区においてまちづくり推進委員会を開催し、人吉市まちなかランドデザイン推進アクションプランに掲げる官民連携による街の将来像の具現化に向け、デザイン会議での内容の報告や各周辺整備への検討を行っている。また、下青井町座談会では区画整理事業に伴い会館の移設の必要がある為、隣接する公園と一体になった整備検討を行った。				
<b>改善内容</b> Action	(今後の課題)				
	公共施設の整備検討は行っているもの、そこを運営する事業者や維持管理も含めたところのソフトに対する検討を進める必要がある。また、地区ルールや地区計画までの議論には至っていない。中心市街地地区については、座談会等の開催ができていない。				
<b>改善内容</b> Action	青井地区においては、下青井座談会を定期的に関き公園や会館の設計方針が決まるように進め、その際に使い方等のルール作りの話し合いを行っていく。中心市街地地区については、デザイン会議と連携しながら座談会等の検討を行っていく。	<b>事業の方向性</b>	<b>資源配分</b>		
		現状維持	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #ff0000; color: white;">財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ff0000; color: white;">人員</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	拡大				

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		予算額		予算額		予算額	
事業財源	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	0	千円	0	千円
	事業費	0	千円	0	千円	0	千円

<b>総合戦略</b>	魅力的な生活圏の形成
<b>市長マニフェスト</b>	人吉らしさを前面に出した統一化されたまちなみ景観の創出を図ります。

<b>戦略名</b>	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
<b>施策項目</b>	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり		

<b>事務事業名</b>	都市再生整備計画事業	<b>担当課</b>	市街地復興課
<b>事務事業概要</b>	被災市街地復興推進地域内において、「人吉市立地適正化計画」に基づき、都市機能や居住環境の向上に資する道路や公園、複合施設等の誘導・整備、防災力強化、居住の誘導の取組等を行い、持続可能で強靱な都市構造へ再編を図るための事業		
<b>主な取組内容</b> Plan	既存	青井地区	

事務事業実績					
事業財源	費目	令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
Do	国庫補助金	13,950	千円	44,800	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	13,950	千円	44,800	千円
	事業費	27,900	千円	89,600	千円

事務事業評価					
<b>成果・課題</b> Check	<b>(取組成果)</b> 令和6年度は、まちづくりデザイン会議で青井阿蘇神社周辺の道路の高質化について検討を行った。青井阿蘇神社前の市道や国道445号の舗装について、基本は石畳で高質化を行うことで決定された。 また、(仮称)西部公園については設計業務委託を発注し下青井町座談会の意見等を踏まえ公園の設備の検討を行うことができた。				
	<b>(今後の課題)</b> 青井阿蘇神社周辺整備については、道路等の高質化検討は行っているが、にぎわい拠点や公園、球磨川周辺整備については用地買収が必須となるので、交渉次第では事業の進捗に影響が出てくる。 また、まちづくりデザイン会議や下部組織のタスクフォースの検討状況によって、事業費や事業期間に影響が出てくる。				
<b>改善内容</b> Action	用地買収については、権利者の方とは交渉を進め合意形成をとっていく。 また、整備方針等については、まちづくりデザイン会議やタスクフォースと連携して進めていく。	<b>事業の方向性</b>	<b>資源配分</b>		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	拡大				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	237,700	千円	205,650	千円	54,650	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	237,700	千円	205,650	千円	54,650	千円
	事業費	475,400	千円	411,300	千円	109,300	千円

<b>総合戦略</b>	若者の地元修学・就業の促進 地方移住の推進 魅力的な生活圏の形成 「関係人口」の創出・拡大
<b>市長マニフェスト</b>	かわまちづくり事業による球磨川と共に生きるまちの実現を目指します。

<b>戦略名</b>	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
<b>施策項目</b>	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり		

<b>事務事業名</b>	都市再生整備計画事業	<b>担当課</b>	市街地復興課
<b>事務事業概要</b>	被災市街地復興推進地域内において、「人吉市立地適正化計画」に基づき、都市機能や居住環境の向上に資する道路や公園、複合施設等の誘導・整備、防災力強化、居住の誘導の取組等を行い、持続可能で強靱な都市構造へ再編を図るための事業		
<b>主な取組内容</b> Plan	既存	中心市街地地区	

事務事業実績					
事業財源	費目	令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
Do	国庫補助金	87,750	千円	7,400	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	87,750	千円	7,400	千円
	事業費	175,500	千円	14,800	千円

事務事業評価					
成果・課題	(取組成果)				
	令和6年度は、うぐいす温泉周辺街区について公共空間活用検討業務を発注し、中心市街地における公共施設について、社会実験を行うことができ利用者や事業者が日常的に使える公共空間の検討ができた。				
Check	(今後の課題)				
	うぐいす温泉周辺街区については、広場としての利活用については、社会実験により効果検証ができたが、複合施設としての検討ができておらずまた、運営を担ってもらう事業者についても課題として残っている。 また、来年度はどのような整備を行うかによって整備計画の見直しも必要となる。				
改善内容	用地買収については、権利者の方とは交渉を進め合意形成をとっていく。 また、整備方針等については、まちづくりデザイン会議やタスクフォースと連携して進めていく。	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	拡大				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		予算額		予算額		予算額	
事業財源	国庫補助金	75,150	千円	84,250	千円	2,000	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	75,150	千円	84,250	千円	2,000	千円
	事業費	150,300	千円	168,500	千円	4,000	千円

<b>総合戦略</b>	若者の地元修学・就業の促進 地方移住の推進 魅力的な生活圏の形成 「関係人口」の創出・拡大
<b>市長マニフェスト</b>	”つい歩きたくなる街”をコンセプト(基本的構想)としたまちなかの空地と小路を繋ぐ空間整備を進めます。

<b>戦略名</b>	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
<b>施策項目</b>	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり		

<b>事務事業名</b>	都市防災総合推進事業	<b>担当課</b>	市街地復興課
<b>事務事業概要</b>	市街地の防災力の向上と被災市街地復興推進地域の早期復興を図るために、避難路等の公共施設を整備する事業		
<b>主な取組内容</b> Plan	既存	青井地区	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	93,476	千円	309,820	千円	
事業費	93,476	千円	309,820	千円	

事務事業評価					
<b>成果・課題</b> Check	(取組成果)				
	令和6年度は、用地測量及び建物等調査業務が完了し一部路線については用地補償交渉を行い契約を完了した。				
<b>改善内容</b> Action	(今後の課題)				
	引続き補償交渉を進める必要があり、地権者との交渉によっては事業スケジュールに非常に影響がある。また、熊本県施工の土地区画整理事業の事業進捗による影響もある。				
<b>改善内容</b> Action	用地補償交渉については、戸別訪問を行い事業に対するご理解を得ていく。熊本県と連携しながら事業を進めていくため情報共有を適宜行っていく。	<b>事業の方向性</b>	<b>資源配分</b>		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	拡大				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	10,000	千円	12,000	千円	0	千円	
事業費	10,000	千円	12,000	千円	0	千円	

<b>総合戦略</b>	魅力的な生活圏の形成
<b>市長マニフェスト</b>	豪雨災害の経験等を生かした早期避難対策として、避難路、避難場所等の整備、拡充を進めます。

<b>戦略名</b>	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
<b>施策項目</b>	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり		

<b>事務事業名</b>	都市防災総合推進事業	<b>担当課</b>	市街地復興課
<b>事務事業概要</b>	市街地の防災力の向上と被災市街地復興推進地域の早期復興を図るために、避難路等の公共施設を整備する事業		
<b>主な取組内容</b> Plan	既存	中心市街地地区	

事務事業実績					
事業財源	費目	令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
Do	国庫補助金	25,482	千円	2,344,135	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	25,483	千円	2,344,135	千円
	事業費	50,965	千円	4,688,270	千円

事務事業評価							
<b>成果・課題</b> Check	(取組成果)						
	令和6年度は、熊本県の山田川広域河川改修事業と連携し詳細設計を完了させ、建物調査業務委託を発注し用地補償交渉を行った。						
<b>改善内容</b> Action	(今後の課題)						
	用地補償交渉については、地権者との合意形成が必要になってくるため事業進捗に大きく影響する。また、熊本県の山田川広域河川改修事業のスケジュールと連携して補償交渉を行っていく必要がある。						
	用地補償交渉については、戸別訪問を行い事業に対するご理解を得ていく。熊本県と連携しながら事業を進めていくため情報共有を適宜行っていく。	<b>事業の方向性</b>	<b>資源配分</b>				
		現状維持	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	財源	現状維持	人員	拡大
財源	現状維持						
人員	拡大						

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	5,000	千円	7,500	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	5,000	千円	7,500	千円	0	千円
	事業費	10,000	千円	15,000	千円	0	千円

<b>総合戦略</b>	魅力的な生活圏の形成 災害に強く安心して暮らせる地域の形成
<b>市長マニフェスト</b>	豪雨災害の経験等を生かした早期避難対策として、避難路、避難場所等の整備、拡充を進めます。

<b>戦略名</b>	戦略5 都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
<b>施策項目</b>	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり	

<b>事務事業名</b>	鍛冶屋町通り街なみ環境整備事業	<b>担当課</b>	都市計画課
<b>事務事業概要</b>	鍛冶屋町通りの昔の風情を生かして、住民と一緒に景観整備を進め、魅力ある賑わいの街を創り出す事業		
<b>主な取組内容</b> Plan	既存	鍛冶屋町街なみ環境整備事業	

事務事業実績					
事業財源	費目	令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
Do	国庫補助金	1,000	千円	1,000	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	1,000	千円	1,000	千円
	事業費	2,000	千円	2,000	千円

事務事業評価					
成果・課題	<b>(取組成果)</b>				
	令和6年度までに、通路整備70m・小公園整備400㎡・案内板設置9基・修景施設20棟の事業を行い、鍛冶屋町の魅力を高め住環境が向上した。				
Check	<b>(今後の課題)</b>				
	住民の方に街なみ環境整備事業の必要性を訴え、今後も民間の修景事業を行っていききたい。				
改善内容	特になし。	<b>事業の方向性</b>	<b>資源配分</b>		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		予算額		予算額		予算額	
Do	国庫補助金	1,000	千円	1,000	千円	1,000	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	1,000	千円	1,000	千円	1,000	千円
	事業費	2,000	千円	2,000	千円	2,000	千円

<b>総合戦略</b>	魅力的な生活圏の形成
	地域間連携による魅力的な地域圏の形成
<b>市長マニフェスト</b>	人吉らしさを前面に出した統一化されたまちなみ景観の創出を図ります。